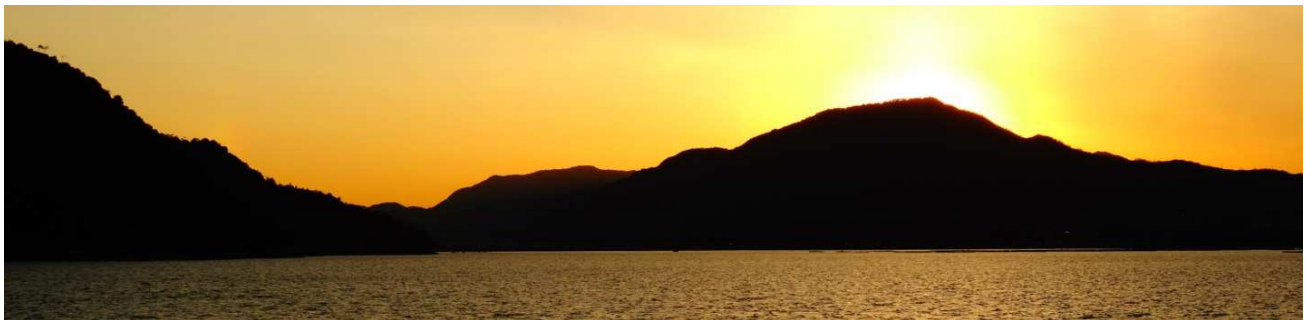




古民家 de がんす

一般社団法人全国古民家再生協会広島第一支部 活動報告 2016年冬号



一般社団法人全国古民家再生協会広島第一支部、〒731-0222、広島市安佐北区可部東 5-22-33-10
<http://www.kominka-hiroshima.org/> info@kominka-hiroshima.org 082-814-5302

1 メディアの取材を受けました！

広島のタウン情報誌Winkの関連雑誌 coccala「コッカラ」に古民家を鑑定、保存、再生させる団体として、掲載されました。

取材は、貴船代表、楠部 高橋 藤原の4人で臨み座談会形式で行われました。

記者の方の進行のもと、古民家へのそれぞれの思い、残したい、守りたいという熱い思いを好きなように語り合い、とても楽しい時間でした。

出来上がった記事は、それが日頃の活動内容とともに温かくまとめられていて、さすがプロ！とホレホレしました。

メディア掲載の後、古民家の事でお困りの方や、同じ思いをお持ちの方からの反響もあり、改めて活動を アピールしていくことの大事さを感じました。【古民家鑑定士 藤原紀子】

「古民家」とは
築50年以上経った
建物を古民家と
定義します。

「古民家鑑定士」とは
築50年以上の住宅を
調査鑑定し、古民家鑑
定書を発行することが
できる資格です。



「古民家」とは、築50年以上経った建物を指します。古民家再生協会では、古民家の魅力を伝えるとともに、その保存と再生に取り組んでいます。取材では、古民家の魅力を伝えるとともに、その保存と再生に取り組んでいます。

鑑定士が語る 広島古民家の 魅力と可能性

古民家再生協会広島第一支部の代表として、古民家の魅力を語る。古民家の魅力を語る。古民家の魅力を語る。



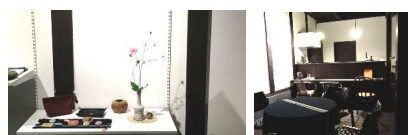
2 古民家レポート ～広島の素敵な古民家のお店を紹介します～



築 150 年の呉服店をカフェとして再生した、かしわや入江



おもわずうっとり♡の庭園



ギャラリーやコンサート会場としての利用も OK♪

江戸時代から続く入江呉服店さんが、「情緒ある通りの雰囲気を守り、伝えたい」と築 150 年の店舗を改装し、「かしわや入江」としてカフェをオープンさせました。

店内は木組みの梁など古民家の重厚感を感じることができるとともに、随所にモダンな装いが散りばめられており、何とも落ち着く空間(*^_^*)
石臼で挽いたコーヒーを味わいながら、ゆったりと庭園を眺める…贅沢な時間を楽しめます♪

いりえ かしわや入江

住所／広島市安佐北区可部 3-46-24

営業時間／9：30～19：00

定休日／木曜日

連絡先／082-812-2028

駐車場／有

私がおすすめします！

古民家鑑定士 貴船一樹

入江さんとは可部地区の街並み保存活動を行う「可部夢街道まちづくりの会」で共に活動させて頂いています。カフェオープンで街並み保存の拠点的存在ができたことをとても嬉しく思っています！これからの可部の発展になくはならない存在です(^◇^)

季節の味を愛でる会の

ひしま食卓 温故知新

嫁の vol.2 はぶて焼き

料理教室「季節の味を愛でる会」主宰・あや

厳しい寒さの訪れと共に、瀬戸内の魚も上品な脂をまとい始めます。

今回ご紹介するのは、魚を使った郷土料理「嫁のはぶて焼き」。

たくさん採れた魚を一度に煮て、残ったものを次の日に食べるという広島の郷土料理で、知名度も高めではないでしょうか。

瀬戸内で冬から春にかけて美味しい、めばる、かさこ、鯛、いさき…これらの白身魚を焼くと、

口の中でほどけるような、ふわっとした食感がたまりません。しかし、お嫁にきたばかりの若い女性にとって、

瀬戸内の魚を上手に焼くのはなかなか至難の技でした。焼き魚を失敗して「嫁がはぶてる(すねてふくれっ面になる)」とか、

残り物の方が美味しいと言って食べるご主人を見た嫁がはぶてるなど名前の由来は諸説あります。

寒い時期、煮魚をひと晩置けば、煮汁に染み出したタンパク質が固まり、姿のまま煮凝りようになります。

この状態なら崩れず上手に焼けますし、味がよく染み込んで美味しい。また、火を通すので冷蔵庫の無い時代でも

衛生面で理に叶った調理法でした。「嫁のはぶて焼き」という名前を逆手に取ったような魅力ある料理です。

季節の味を愛でる会のブログ「箸休め」 <http://kisetsunoaji5141.blog.fc2.com/>

魚がたくさん
手に入ったら

嫁のはぶて焼き

〔材料〕

- ・白身魚
めばる、かさこ、
鯛、ちぬ、いさき、
あいなめ、ぎざみ等
- ・酒
- ・みりん
- ・砂糖
- ・醤油

〔作り方〕

1. 魚はウロコとハラワタを取り下ごしらえしておく。
熱湯にサッと湯通しして、冷水で残ったウロコや血を洗い流します。
※熱湯をかけた後、冷水で処理すると身が崩れにくく、臭みが出にくくなります。
2. 鍋に酒と水を入れて煮立たせます。
魚を入れたらみりん、砂糖、醤油で味をつけ、落とし蓋をして再び煮立ったら中火で煮付けます。
※みりん、砂糖、醤油は同量くらい、酒の量はそれより少し多め位を目安にすると品の良い甘さの煮付けになります。
落とし蓋が無い場合はアルミホイルで代用できます。
3. 翌日などに、残った煮付けをグリルやトースターで焼き色が付くまで焼いたら完成です。



3 可部のまちめぐりに参加して

10月16日に可部の旧街道を中心とした古民家・寺院などが残る町並みを、飲んで・見て・楽しむイベント「第13回 可部のまちめぐり」が開催され、私達も出店させて頂きました。

午前10時、広島文教女子大学附属高校吹奏楽部によるファンファーレでスタートしたお祭りには、一日で約1500人の方にお越し頂きました。

私達も地域の方のご好意で、街道沿いの御宅のスペースをお借りし、「古民家フォトパネル展」「大工さんの継手展示」「ヨーヨー釣り」を行いました。

「毎年来ています!」「古い町並みや古民家が好きです!」と嬉しいお言葉を沢山頂戴し、パネルや継手の展示を興味深く見て頂きました。

ヨーヨー釣りも予想以上の大盛況で100個のヨーヨーがすべて完売しました♪

見どころ満載のお祭りの中でも、今年オープンした「かしわや入江」さんは、ひときわ賑わっていました。

古民家を改装した店内は、土間を利用したモダンな空間になっており、奥の庭には日本庭園が広がっています。若い方からご年配の方まで親しみを持てる雰囲気は、訪れた人を魅了していました。

菱正宗さんと中川醤油さんで、それぞれお気に入りの日本酒と醤油を購入。お祭りを大満喫(*^^*)

どの出展者の方もお祭りを通じて可部の町を盛り上げたい!の熱い思いがひしひしと伝わってきて

地域の方と共に過ごした一日はとても有意義な時間でした。

来年は「歩行者天国」を目指し、地域の方と一丸となって可部を盛り上げていきたいと決意を新たにしました!

【古民家鑑定士 貴船一樹】



「古民家フォト甲子園」のパネル展示



【左】ヨーヨー釣り 【右】大工さんの継手展示



風情とモダンな雰囲気を持ち合わせた入江さん



菱正宗さんではお酒の試飲が楽しめました



バザーなどが行われていた品窮寺さん

4 古民家活用 ～民泊として活かす古民家～

現在、日本では多くの外国人が訪れておられます。

2016年10月30日時点ですでに2000万人を突破しています。これは過去最高だった昨年1974万人を約10か月で超えています。

安倍政権は昨年まで「20年に年間2000万人」の目標を掲げていましたが、今年3月に「20年に4000万人、30年に6000万人」へ引き上げていたばかりでした。

しかし、外国人観光客が国内で消費する経済効果は大きいですが、中国経済などの減速の影響などで伸び率に以前のような勢いが無いのと、中国、香港などの旅行者に見られた「爆買い」現象も少なくなった為、消費は落ち込みつつあるようです。

又、多くの観光客が訪日される為、宿泊施設の不足が全国で取り上げられ、広島でも例外ではありません。

7月19日発表した2015年の観光客数の動向によると、広島での外国人観光客数は166万1000人で、これは前年に比べ59%増加し、4年連続で過去最高を更新したようです。

又、トリップアドバイザーが発表した『外国人に人気の日本の観光スポット ランキング 2015』の2位と3位に広島県がランクインしています。（※1位は京都の伏見稲荷大社）

このような事態に対し県としても様々な施策を試みているようであります。

その一つに広島に残る伝統的な建築物を活用して宿泊施設にするという取り組み。

これは、近年多く聞かれるようになった「空き家」対策も兼ねて行われる目的らしく、地域活性化も期待できそうです。

古民家再生協会広島として、広島県に残る古民家の活用につながる様に行政と力を併せて取り組んでいきたいと考えております。

空き家の古民家をお持ちで活用にお困りの方、是非お問合せ下さいませ。

【古民家鑑定士 貴船一樹】



外国人に人気の日本の観光スポット ●第2位●
広島平和記念資料館（原爆ドーム 広島平和記念公園）



外国人に人気の日本の観光スポット ●第3位●
厳島神社（廿日市市宮島）

5 『「みんなで」おもてなし講演会』に行きました！

10月24日広島県民文化センターホールで広島県・観光連盟主催の『「みんなで」おもてなし講演会』が開催され、当団体特別会員のアレックス・カー氏の講演がありました。

カー氏は古民家活用・インバウンドの第一人者として、「インバウンドにおける魅力づくりとおもてなし」についてお話されました。

1964年に来日したカー氏は、徳島県に、築300年の藁葺き屋根の古民家を購入し自らの手で修繕しながら住み始めました。

その後、地域再生コンサルティング事業や作家活動、当団体の特別会員としても活動をされています。



『「みんなで」おもてなし講演会』会場

全国様々な地域で古民家を再生され、地域を元気にされてこられたカー氏のお話を大変興味深く聞かせて頂きました。

「何もない田舎の良さ（日本の原風景）が残る地域を大事にし、諦めず地域の方とプライドを持ってまちづくりをする事が大事」という熱い言葉を聞き、改めて私達の活動の重要性を再確認しました。

また、今まで気にも留めていなかった「看板」についてのお話は大変印象的でした。カー氏は、日本の看板は「目立ちすぎて景観を壊している」と指摘されていました。

確かに、「目に留まるように…」ということ意識しすぎている日本の看板は、風景との調和を考えて作られているとは言えません。



アレックス・カー氏

※写真は（一社）全国古民家再生協会 全国大会 基調講演の様子

適切な場所に必要な看板も、見せ方を考える必要があることを再認識しました。

今後も「古民家」「新民家」の活動に邁進し、日本の大切なものを守りながら後世に繋げて行きたいと改めて感じた日でした。

【古民家鑑定士・広島県新民家推進協会 会長

石田照輝】

6 古民家情報 in 広島 ～古民家に住みたい！貸したい！売りたい！をサポート～

広島第一支部にご相談をいただいている、古民家活用や移住の希望情報です。掲載希望（無料）や情報の詳細については当支部までお問い合わせください！

●東広島市福富町の古民家を売りたい（貸したい）です！

古民家鑑定済み物件。地域の為に活用して頂ける方を探しています！

●備後地域で古民家をさがしています！

店舗として活用できる古民家を探しています。詳細は応相談。

●広島市安佐南区吉山周辺で古民家を探しています！

陶芸のできるような広い土間のある物件を探しています。売買物件を希望します。

●広島市内から半径15キロ以内に古民家を探しています！

平日は市内へ会社勤めをされておられ、余暇としての古民家利用を検討しています。賃貸、売買、どちらも視野に入れています。

●広島市西区～草津の古民家を探しています！

店舗として利用可能な物件で、賃貸、売買、どちらの可能性も視野に探しています。隠れ家的なイメージで進めたいので、必ずしも、メイン通りに面する必要はありません。

●東広島市安芸津町の古民家を貸したいです！

築105年の古民家です。しっかりした構造で、床下補強もされています。

屋根瓦は一部修繕が必要な箇所もありますが、少し手を加えれば、今後さらに長い時間生活できそうな建物です。



物件情報や掲載希望についてのお問い合わせ先

TEL 082-814-5302

E-mail info@kominka-hiroshima.org

掲載物件以外にもご相談物件はございます。お気軽にお問い合わせ下さい。



7 古民家フォト大会 in 広島 ~鑑定士が撮る、古民家写真~

大好きな広島古民家や街並みを古民家鑑定士が撮りました。次世代に受け継ぎたい私たち目線の「古民家」を紹介します！

【撮影 古民家鑑定士 貴船一樹】



撮影場所：三次市下志和字町

県道 63 号線から見る事ができるひときわ大きな屋根が印象的な古民家です。

当時の趣をそのままに、堂々と佇んでいる姿に力強さを感じます。



撮影場所：広島市安佐北区可部

現代的なビルの横で、変わらぬ姿で街を見守っている…そんな存在感のある古民家です。

まさに可部らしい古民家の代表格です！！

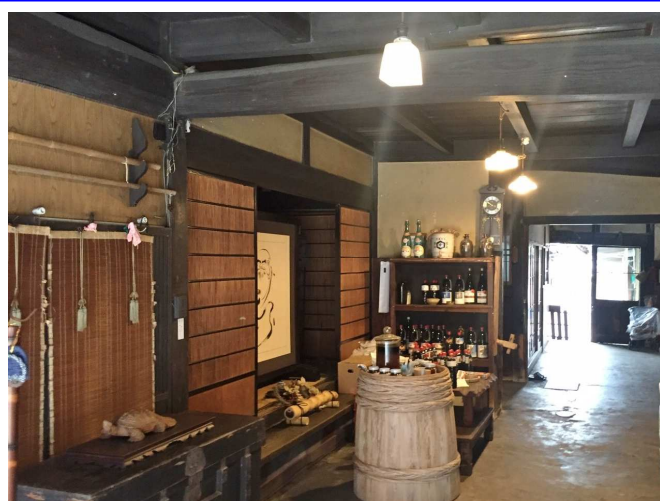
これからもずっと、可部の街を覗いて下さいね(*^^*)



撮影場所：福山市神辺町

大きさと凛とした美しさは圧倒的な存在感で、思わず目を奪われます。

「ミノツル」の煙突が青空に映える姿が大好きです。



撮影場所：広島市安佐北区可部

醤油屋さんの土間の風景です。

古民具とお醤油が、黒光りする古材の雰囲気にとってもよく合います。

何だか懐かしい気持ちになれる…そんな場所です。



8 広島支部 会員のご紹介

●^{きぶね} 貴船 ^{かずき} 一樹

古い物が大好きで、自ら集めた古材とノウハウで自宅を建築。「ワクワクする古民家」をテーマに活動をしています。

所属/ (有) キブネ建設

●^{ふじわら} 藤原 ^{のりこ} 紀子

生活感のある古民家が好きです。

そこに住んでいる方のお話を伺って、一緒に当時に思いを馳せて楽しんでいます！

●^{たかはし} 高橋 ^{なおえ} 尚江

建物・街並み・手仕事等、「古いもの・こと」なら何でも好きという想いだけで扉を叩き、うっかり(笑)開いた隙間に入った世界！

「古き良き」を発受信できる、お節介な窓口を目指しています！

●^{やまもと} 山本 ^{あきひろ} 晃弘

昔ながらの風景が好きで、想いを共にする仲間に出会うべく会へ入会！

会を通じて昔ながらの良さをじっくり見つけるきっかけづくりにします！

●^{どい} 土居 ^{かずのり} 一憲

今まで、仕事ではコンクリート造や鉄骨造が主体ですが、本物の木造が大好きです。

古民家にこだわることなく棟梁の技術など興味を持っています。

所属/ (株) オービット設計

●^{いしだ} 石田 ^{てるき} 照輝

建築に携わってきて、日本古来の伝統構法、和に魅了され、この協会を通じて古民家の良さを発信していきたいと思っています。

所属/ (有) 石田土建

●^{ゆだ} 油田 ^{ひでお} 秀雄

古臭く現代に合っていない建物だからと言って壊してしまう昨今、長く住み続けたからこそ味わいのあるたった一つの『ヴィンテージハウス』

そんな伝統的な日本建築を残したいと思っています。

所属/ (有) ^{ゆめきぼう} 夢木房

●^{さくらい} 桜井 ^{しんじ} 伸治

古民家を通じ、日本の歴史 文化を学び、それを後世に伝えていきたいと思っています。

所属/ 住マイルにしかわ

●^{しだ} 志田 ^{こういち} 浩一

解体業を営むなかで、古民家にある歴史や古材を活用できるような循環型の解体を目指しています。

空き家問題にも積極的に取り組んでいきたいです。

一般社団法人 全国古民家再生協会広島第一支部

731-0222 広島市安佐北区可部東5-22-33-10

TEL: 082-814-5302 FAX: 082-516-7545

info@kominka-hiroshima.org <http://www.kominka-hiroshima.org>

担当/

古民家
KOMINKA NETWORK